

(様式1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成29年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	12	事業名	除染土壌等仮置場及び周辺環境放射線量常時監視事業	事業番号	(3)-22-1
交付団体	南相馬市		事業実施主体(直接/間接)	南相馬市	
総交付対象事業費	(37,502) 46,817(千円)		全体事業費	74,762(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
除染によって発生する除去土壌等の仮置場は周辺住民の理解によって確保することができた。仮置場の設置にあたっては、放射線に対する不安から放射線量を常時観測するモニタリングポスト(以下「常時観測装置」という。)の設置を強く要望されそれぞれの仮置場に設置した。 設置した常時観測装置の管理を適切に行うことにより、周辺住民の理解と安心を深めるとともに、除染の早期完了による地域の再生加速化を図る。					
事業概要					
設置した放射線常時観測装置の適正な管理運用(年1回の点検校正作業を含む)					
【南相馬市復興総合計画 基本指針2 健康で安心して暮らすことのできるまちづくり】P80、P83 基本施策(4) 放射線対策の充実 施策① 除染の推進 施策② 放射線に対する情報の提供					
当面の事業概要					
<平成29年度> 内 容 ○点検校正及び運用管理台数 30台 ○モニタリングポスト設置場所 南相馬市内の仮置場(別添一覧表参照) 費 用: 9,315千円 <平成30年度以降> 継続しての実施を予定している。					
地域の帰還環境整備との関係					
常時観測装置の点検校正による正確な測定により、住民の放射線に対する不安を軽減するとともに除染を加速することによって、地域の再生加速化につなげる。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	